

**茶道部**

西高祭の一般公開当日、中庭では茶道部によるお点前が披露された。大きな赤い和傘をさして、お客様に対し、浴衣姿の部員達が懸命におもてなしをした。気温が高く、日差しも強かったため、水入りの冷丁寧な所作でお客様のおもてなしをした。お客様にスマーズをお提供できるよう努力した」と振り返っていました。

**中庭でお点前披露**

西高祭の一般公開当日、中庭では茶道部によるお点前が披露された。大きな赤い和傘をさして、お客様に対し、浴衣姿の部員達が懸命におもてなしをした。気温が高く、日差しも強かったため、水入りの冷丁寧な所作でお客様のおもてなしをした。お客様にスマーズをお提供できるよう努力した」と振り返っていました。

**6/27・28 「笑顔満西」の西高祭**

仮装コンテストで全校の歓声に応えながら独自劇を演じた3E

**発行所**

秋田県潟上市天王  
字追分西26-1  
秋田県立秋田西高等学校  
広報出版委員会  
☎ 018-873-5251  
印刷 (株)八郎潟印刷  
☎ 018-875-4005



カップの中はバラ盛りの特注アイス

**西高祭特注アイス販売  
300個を3時間で完売**

ピロティーではP.T.A主催の「アイス販売」が行われた。学校祭用に特別注文したアイスは青色と白色で、一般公開当日限定販売。担当の伊藤真司先生は、「児玉冷菓さんに300個を注文し、3時間で完売した。P.T.Aの方々が20名参加してくれました」。

**野球部 投打の軸として大活躍**

県大会で春ベスト4、夏ベスト8の活躍を見せた野球部。  
エース・4番の安藤啓太さん(3D)にきいた。

▶ダイナミックなフォームで投げる安藤さん

A 引退を迎えた秋田の高校野球について思うことを教えてください。

Q 強豪校の多い他県と比べ、ホームラン数が少なかつたりするので、全体的に劣っている部分もあると

コロナ禍後、初めて全校生徒が第一体育館に集まつて観劇した「仮装コンテスト」。1位に輝いたのは、3Eの「今日好きになりましたシンデレラ編」。中高生の

翔さん、鈴木咲希さん、金野水月姫さんは「観客によく見えるよう道具のサイズを大きくした。番組を知らない人も簡単に内容を理解できる台本にしました」と語った。

「クラデコ」の1位は2Cの「パンクボウリング」。番組放送が無くなってしまった「V.S嵐」の雰囲気を再び味わってもらおうと、ボウリングを中心に子どもから大人まで

で年代を問わず楽しめた。佐々木柊太さんは「ボウリングでは段ボールで反り立つ壁を作り、そこに向かってボールを転がすと、ピンのある方向にボールが進んで倒れる仕組みにした。製作にあたり、小さい子どもでも楽しめるように工夫したのが良かった」と話していた。

今年もまた8月の猛暑を乗り越えてやってきた9月には、まだ夏の名残が残っているように感じる。そんな9月には天文学的に昼と夜の長さがほぼ等しくなる「秋分の日」が訪れる。その「秋分の日」を中日にして前後3日間を含む計7日間が「お彼岸」と呼ばれる。この期間は故人や先祖を偲んで感謝を捧げるために墓参りや供養が盛んに行われる。この風習の起源はいつか平安時代の最古の記録では、大同元年(806)に桓武天皇の弟・早良親王(崇徳天皇)の靈を慰めるため、春分・秋分の前後7日間に全国の国分寺で經典が読まれたことが始まりとされています。

**校章の由来**

校章は、中心に校名の「西」をえ、外側に県のシンボルである「落」を配し、緑の新鮮さを表わすとともに、教育方針(豊かな心、調和の姿、創造の道)を表わしている。

また、三本の「ペン」は知性、品性、体力に優れた健康で調和ある生徒の成長、発展を念願したものである。

**生徒総会****柔道部廃部を報告**

4月25日、第一体育館で「生徒総会」が行われた。各委員会の活動目標や活動計画の発表の後、質疑応答が行われた。

保健委員会に対しては「トイレが汚く、匂う。洋式にしてほしい」という意見があったが、校舎や設備の老朽化という長年の課題もあり、即答は難しかった。

なお、部員が2年間に渡って不在の柔道部について、昨秋の評議委員会で「廃部」となったことが報告された。



**テニス部 3年連続全国大会出場**

女子ソフトテニス部で高校3年間連続でインターハイ出場を果たした実力者、佐藤優愛さん(3C)は漢字一文字で表現してください。

A かかったことは何ですか。自分から積極的に周りを見て行動する力が身につきました。辛かったことは、上下関係です。1年生の時は特に、礼儀作法やルールが細かく大変に

Q 「鍛」。プレーだけではなく、メンタル面でも多くことが鍛えられました。

高校野球で一番忘れられない場面とその時の心境を教えてください。

A 春季大会の角館高校との試合で、継続試合再開直後の打席に入った場面です。2アウト、ランナー2塁というチャンスの場面だったのですが、死に物狂いでボールに食らい付いていました。

Q 感じました。でも、この経験によって精神面を中心得られた成果もたくさんありました。

A お彼岸もちを手作りするなど、地域ごとに形や味付けるバリエーションも多様である。▶他の地域と大きく異なるのは沖縄。沖縄ではお墓参りに提げ、お祝い用の重箱料理やお弁当を家族・親戚で囲む地域もある▶このように「お彼岸」には、時代を超えてその地域で続いてきた文化がある。最近では、その意味や過ごし方を知らない若者も多いのではないか。これからも伝統を受け継いでいくために、私たちは地域の文化に興味を持つべきではないか。



7月9日の午後、1・2年生を対象に「アカデミックラボ」が催された。大学教員による10種の講義から2講義を受講し、学問への興味・関心を高める目的。生徒は真剣な表情で臨み、進路を考える機会とした。

秋田大学国際資源学部の安達毅教授による「資源とは何か?」マスコミに見る資源のウソと本当」という講義は、ネット上に挙げられた「日本もレアアース泥開発でレアアース大国になれる」という記事に対し「地質、技術、コスト面から資源と言えない」という内容だった。先生は情報記事を用いて情報の真偽を見極める力の大切さを強調された。

## 「アカデミックラボ 大学の講義を受講

**A** なつたのですか。  
**B** 令和5年4月の生徒総会で、「制服規則見直し」の要望が出され、気候変化や社会情勢の多様化を踏まえて検討。生徒・保護者アンケートでも現行制服への不満やブレザーへの希望意見が多く、新制服導入を決定した。

**C** 現在の進捗状況について教えてください。

**D** 冬服のデザインは決定し、会議室にも展示中。夏服

令和8年度入学生から変わる西高の制服。新制服選定に携わっておられる「制服検討委員会」の宮腰幸恵先生にインタビューした。

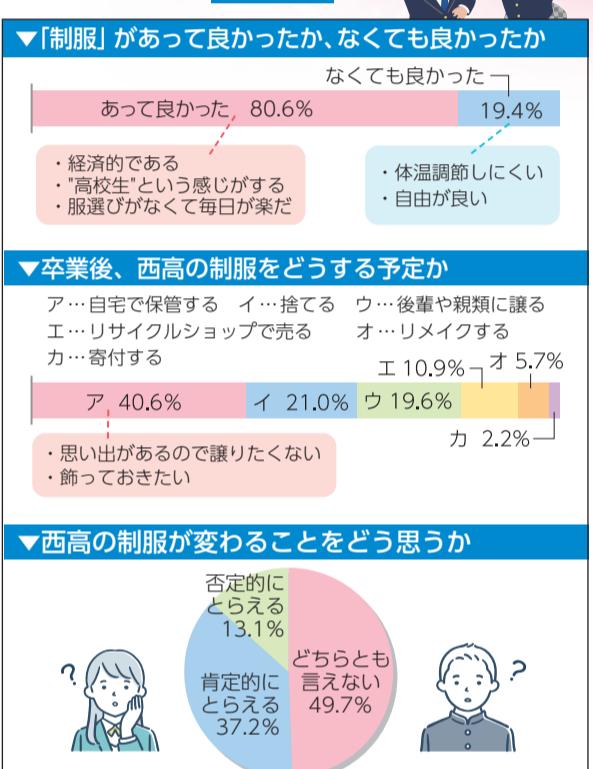
# 新 生徒会役員決定 意見箱設置を提言

7月16日、第一体育館で生徒会新役員選挙が行われた。開票の結果、渡辺奏楓さん（2C）が信任投票で新生徒会長になった。渡辺さんが実行しようとしていることは「一つ目が意見箱の設置と定期的なアンケートの実施。二つ目がスムーズな行事の実施」だそうだ。「クラスメイトや先生方の不満の声をこの二つで無くそう」と考え、「皆さんの生活が楽しいものになるよう努める」と語った。



▲新制服案は7月25日の「学校説明会」で  
由学生向けに展示

## 卒業生アンケート



現制服 着用後に思うあれこれ  
「変更に活かしてほしい」

「制服」についてのアンケート自由記述欄には、現制服の良し悪しに関する多くの意見が寄せられた。いずれも「現制服よりも良いものに変更するための参考にして欲しい」という趣旨のもの。勿論、好みや感覚には個人差があるが、特に記述の多かったものを取り上げる。

良かった点	悪くなかった点
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通気性があり、軽くて涼しい</li> <li>● 着心地が良く、汗ばんでもごわしない</li> <li>● 動きやすく、脱ぎ着がしやすい</li> <li>● ポロシャツが楽で、ポケットが機能的</li> <li>● 格好良く、シンプルなデザイン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 汗の吸収が良くない、臭くなる</li> <li>● ズボンが暑く、汚れやすい</li> <li>● 胸元のボタンが開きすぎる</li> <li>● デザインが地味で格好良くない</li> <li>● 長袖ポロ、半ズボンが欲しい</li> </ul>



女子夏服



- 青色が個性的で他校にはない
- とデザイン
- チャックで着脱が簡単、動き
- 半袖と長袖の両方があり、す
- に乾く
- リボンの形や大きさがかわい
- 汗が目立たなく、汚れがわかない
- キュロットと襟の青が違う、
- き嫌いがある
- キュロットが不便で、歩きづら
- 下着が透けやすく、汗染みが
- 立つ
- スカートの生地が厚く、毛玉
- なりがち
- ポケットが足りない、冬服と
- 置が違う

制服は経済的

全国的には「制服」のない高校も多いが、「制服」とは学校の象徴である一方で、個人にとっては高校生活の象徴でもある。そこで、「現制服」を3年間着用し終えた令和6年度卒業生にアンケート調査をした。

## 「制服」は経済的

「制服があつて良かつたか」など質問に対し、80・6%が「あつて良かった」と回答。その理由としては「経済的」、「高校生という感じがする」という意見が多かった。一方、「体温調節がしづらい」、「窮屈」な

卒業後の「制服」は

た」と答えた人は19・4%。西高生の多くは制服を必不可少なものとして高校生生活を送っているようだ。

## 卒業後の「制服」は?

「卒業後、西高の制服をどうするか」という質問には、「自宅で保管する」が40・6%と最多で、「思い出が蘇る」「特別な感情がある」という声が目立つた。「捨てる」

制服変更には寂しさ

## 選択幅の広い専攻分野

は「肯定的」が37・2%、一  
ちらとも言えない」が49・  
7%、「否定的」が13・1%  
と回答した。「制服の変更は  
寂しいが、卒業後なので実感  
がわかない」という中立的な  
意見が多い一方、否定的に捉  
える理由として「母校のイメ  
ージが変わる寂しさ」を挙  
げる人が多かった。特に「女  
子の夏服はインパクト大。こ  
れこそ西高。変更はショック」  
という声もあった。

A female scientist with dark hair tied back is wearing a grey sweatshirt with 'DURK' printed on it. She is wearing blue nitrile gloves and is focused on her work at a stainless steel lab bench. On the bench, there is a white notebook, a pen, a small yellow container, and some glassware. In the background, there are large white refrigerators and other laboratory equipment.

私の高校時代は、コロナ禍の真っ最中だったので、楽しみにしていた行事ができるなかつたり、制限があつたりしました。今でも「あの時コロナ禍じゃなかつたらなあ」と考えるときがあります。だからこそ、在学生の皆さんには行事は一生懸命取り組んで、思いつきり楽しんでほしいです。意見の食い違いや、通りにならないこともあると思います。でも、それも全部いい思い出です。高校生活はあつという間なので、悔いのないように過ごしてください。

秋田県立大学 生物資源科学部  
応用生物科学科  
櫻庭 彩佳さん  
(2022年卒)